



# 公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎市宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：菅原 進 編集人：後藤 晶一

## 第三回定例会 代表質問

沼沢議員は公明党を代表して6月21日に質問に立ち、議案および市政一般35項目について質問しました。特に防災・震災対策や放射能汚染など、市民の皆様の安全・安心を守るために、当局の積極的な取り組みなどを求めました。



質問に立つ沼沢議員

## 校庭など447ヶ所の放射線測定終了

市内学校の校庭や幼稚園・保育所の園庭などの放射線測定が6月実施され、どの地点でも基準値を下回り、自然界の通常レベルであることが確認されました。プールの水や各区5ヶ所の公園についても検査を実施、すべての箇所でも基準値以下であることも判明しました。

さらに7月からは給食食材等の検査も実施されることになり市のホームページなどで公表しています。

比較的高い濃度が検出されている下水汚泥焼却灰については、ようやく国基準が示されたため仮置き・埋め立て処理が行われる予定です。



放射線測定を視察する公明党議員団

ボランティアネットワークが活動中で、復興支援に対する機運も高まっていることから、早急にボランティア支援などのコーディネートを図るよう求めました。

## 被災地支援にボランティアバスの運行を!!

東日本大震災の復興支援策として「ボランティアへの支援」を提案、市長を本部長とした「東日本災害対策本部」で検討すると答弁を引き出しました。

現地では瓦礫の撤去や汚泥除去に対する深刻な人手不足状態であることから、長期的・継続的支援が必要です。

「かながわボランティアネットワーク」では、社会福祉協議会とバス会社が連携して宮城県に15本、岩手県に5本が運行済または計画であり、遠野市には無料の宿泊施設も整備されました。横浜市でも4便が企画されています。

川崎市でも社会福祉協議会、市民活動センターや防災ボランテ

## ミュージザ川崎復旧急げ!!



天井が崩落したホール

このたびの震災で、ミュージザ川崎シンフォニーホールの吊り天井が崩落しました。これまでの建築基準法外の扱いで、2001年国から技術的助言が通知されており、2005年の宮城県沖地震を受けて、市は設計者・施工者に確認、耐震性に問題がないとの報告がありました。

しかし竣工後7年しか経っておらず、設計責任・施工責任を明確にするよう求めました。

修復には約2年の歳月がかかるの見込まれており、“音楽のまち・かわさき”を標榜してきた本市にとってはホームグラウンドを失って大きな痛手です。少しでも早い復旧と、二度とこのような事故が起こらないよう万全の対策を求めました。

### ミュージザつり天井

## 施工、国基準と異なる方法

### 市「耐震性問題なし」と報告

東日本大震災で天井しげが崩落したミュージザ川崎シンフォニーホール(川崎区)のつり天井は、地震による崩落を防ぐために国が定めた基準と異なる方法施工されていたことが21日分かった。川崎市議会定例会で、公明党の沼沢和昭議員の代表質問に対し、山崎市長は「耐震性問題なし」と報告した。市長は「この報告の内容を踏まえ、崩落の要因の究明を図るとともに、05年八ボルトの補強に施工して

10月1日、天井面と壁との間、月の経路中継器で山崎市長が視察した。市長は「この報告の内容を踏まえ、崩落の要因の究明を図るとともに、05年八ボルトの補強に施工して

(北条幸司)

耐震性問題なしと報告

おの、耐震性には問題がないとの報告があった。同市によると、同ホールは、2001年の耐震調査に当たって、